

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (北陸)		コンビニ（エリア担当）	・改元やゴールデンウィークの10連休、消費税の引上げ前など、消費へのプラス要因が多い。
		一般小売店〔事務用品〕（店員）	・改元特需と働き方改革法案による関連商品の売上が期待できる。
		一般小売店〔鮮魚〕（役員）	・本格的な春の旅行シーズンを迎えるのに加え、ゴールデンウィークは10連休となる。どんな風になるか想像もつかないが、プラスに動くと考えている。
		百貨店（売場主任）	・改元や皇太子殿下の御即位により慶祝ムードが高まり、ゴールデンウィークの10連休は消費行動が高まると期待している。
		コンビニ（店舗管理）	・ゴールデンウィークの10連休のみ期待できる。
		衣料品専門店（店舗運営）	・来客数ダウンの要因である品ぞろえ不足が解消され、夏季セールに向けて購買意欲も向上すると考えている。
		家電量販店（店長）	・消費税の引上げ前の駆け込み客がみられる。
		家電量販店（店長）	・消費税の引上げを意識した下見が増えてきていることに加え、新築需要も増えてきている。
		家電量販店（本部）	・消費税の引上げ前に購入しようという気運の高まりと、家電エコポイント時に購入した人の買換えサイクルが重なり、今後消費が上向くと見込んでいる。
		乗用車販売店（従業員）	・新型車もあり、期待している。
		住関連専門店（役員）	・住宅の契約が3月は顕著に伸びており、数か月後には耐久消費財への需要が見込まれる。また、消費税の引上げを考慮した動きが活発になるとみている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・現在、全体としては来客数が落ちているが、休業区画での新規出店等が続くことに加え、ゴールデンウィークの10連休や消費税の引上げ前の駆け込み需要が始まる時期となるため、消費が上向いてくると考える。
		観光型旅館（スタッフ）	・予約保有率について、3月は前年の80%と低迷しているが、4月以降は前年を上回ってきている。
		旅行代理店（所長）	・客からの問合せが増加傾向にあり、明るい兆しがある。
		旅行代理店（支店長）	・販売量の増加が見込まれる。
		タクシー運転手	・天候が良くなり、祝日も増え、一層観光客が増えることが見込まれるため、期待できる。
		タクシー運転手	・統一地方選挙の影響で売上は少し落ちるかもしれないが、観光やその他の行事でカバーできるとみている。
		その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕（総支配人）	・通常会員の獲得が難しくなっているため、新規客を呼び込みたいと新アイテムを導入し、改装に投資した。4月から開始する販促の反応を注視していきたい。
		商店街（代表者）	・商店街の商業施設で回転寿司店の撤退がある一方、近隣商店街では3月下旬に寿司かつぱう店が新規開業し、当商店街では5月に高級和食店が開業するなど、業界動向と景気動向が一致しない。また、労働時間調整の影響なのか建築資材の搬入が遅れているとのことで、暖冬にもかかわらず再開ビル完成が遅れている。先行きが不透明でつかみきれない。
		商店街（代表者）	・購買意欲が旺盛な台湾人や中国人がやや減少しているため、売上の大幅な伸びとまではいかない。小口購入が減少するなかで、高額品やまとめ買いをする客の動向によって売上が左右される。
	一般小売店〔精肉〕（店長）	・3月は天候によって暖かい日は焼肉、寒い日は鍋物という感じでメリハリがあり良かった。販売量はそこそこ動いた感じである。	
	百貨店（販売促進担当）	・新元号発表が間近に迫り、お祝いムードの中でメモリアル需要が期待されるが、相変わらず慎重な動きである。富裕層を対象とする高額品は安定しているが、全体消費をけん引する中間層は節約志向が強く、消費マインドの改善は依然として厳しい。	
	百貨店（営業企画）	・気温が高く推移したことで春物の出足が早かったこと、さらに、5～6月も気温が高い予報となっているため期待しているが、大幅に回復するとは見込めない。	
	スーパー（店長）	・悪くなる要素もないが、良くなる要素も見当たらない。	

スーパー（店長）	・来客数の増加は落ち着き始めている。他店への流出がないよう、今は信用や支持をしてもらえるように努めていく。
スーパー（店舗管理）	・青果物の相場の回復が見込めない上に、春からの値上げが重なることによって、更に件数が減少するのではないかと考える。
スーパー（統括）	・4月より値上げが始まるが、全体の単価を押し上げるまではいかないと考える。
衣料品専門店（経営者）	・人手不足や客の買物に対するシビアさは当面続くと考えるが、自社の強みを生かしてそれを乗り越えるしかない。
乗用車販売店（経営者）	・消費税の引上げ実施動向によるが、駆け込み需要が少し続くとみているので変わらない。
乗用車販売店（役員）	・上昇する要素がみられず、かといって急激に悪化するとも思われず、しばらくは現状のまま推移するのではないかと考える。
自動車備品販売店（役員）	・改元などによる特需は自動車業界では期待できず、しわ寄せでダウンするのではと危惧している。
その他専門店〔酒〕（経営者）	・景気が良くなるという兆しがなく、世間の動きもない。とにかくこれ以上悪くならないようにと祈っている。
高級レストラン（スタッフ）	・花見の時期でフリーの来客数は大きく変わるが、歓迎会などの団体受注は例年並みで推移している。
一般レストラン（店長）	・雰囲気有余り良くない。
スナック（経営者）	・経験により大型連休等の後は、客が来店を控えがちになる。また、世界的なマイナス要因などが、心理的に影響すると感じている。
都市型ホテル（スタッフ）	・受注状況から宿泊部門は5～6月は回復するようにみえるが、過当競争によりキャンセルが出てくる可能性がある。宴会部門も選挙がある時期は売上が減少するので、回復する要素がない。
都市型ホテル（役員）	・各部門とも例年と予約状況は変わらず、全館での景気動向は変わらない。ただ、宿泊部門において台湾からの訪日団体の催行状況に一部陰りがあることと、駅前で4月中旬に新規オープンするビジネスホテルの影響が懸念される。
通信会社（職員）	・ゴールデンウィークの10連休が、プラスマイナスどちらに作用するのか判断しにくい。
通信会社（営業担当）	・携帯電話業界の繁忙期は3月一杯で終わるため、販売量は落ち着きを取り戻すと考える。
競輪場（職員）	・ここ2～3か月の間で、売上等において大きな変化はみられない。
住宅販売会社（従業員）	・新築の受注には反動が予想されるが、リフォームの受注はまだ期待できる。しかし、受注が施工量を上回った状況であり、人手不足が深刻である。
住宅販売会社（営業）	・消費税の引上げによる影響がほとんどなかったため、大きな落ち込みはないとの認識を持っている。
商店街（代表者）	・前年の大雪の影響からか前年比では良い数字だが、一昨年と比べると今一つという結果が続くそうである。統一地方選挙や参議院選挙、消費税の引上げと、消費に悪い影響を与える行事が続くのが心配である。
一般小売店〔書籍〕（従業員）	・紙やテープ類、ポリプロピレンを始め様々な商材の値上がり控えており、今でも悪いのに更に悪くなりそうである。
百貨店（販売担当）	・この秋から客の来店頻度の減少や購入商品単価の下落傾向がある。客の購入に関しても慎重さが増し、必需品も含め支出を吟味している。購買動機を拡大するため低単価商品の品ぞろえを強化しており、より単価ダウンに拍車がかかる傾向にある。
スーパー（総務担当）	・今年の春闘の情報では大幅な賃上げが見込めないなかで、公共料金等が増加している。家計を引き締める状況が続く、景気は良くならない。
コンビニ（経営者）	・新幹線特需で、建設に関わる現場の人がほぼ毎日数人来店しているが、少しずつ工事が終わりつつあり、それも減っていく可能性がある。
一般レストラン（統括）	・外食はゴールデンウィークの10連休に一時的な消費を見込めるが、それ以外に消費が増える要素は見当たらない。そのような状況下で働き方改革による人件費やその他経費の増加が進み、売価を改定せざるを得ない。売上高や来客数の減少リスクが極めて高い状況が続く。

	通信会社（役員）	・4～5月は長期休暇があり、主に個人宅を訪問する営業活動は例年に比べ停滞する可能性がある。そのため大きな伸びは期待できない。
	通信会社（営業担当）	・料金プランの改定などが予想されるため想定しづらいが、来客数は伸びると考える。
	通信会社（役員）	・商戦期が終わり例年契約数が一段落する時期であり、今年はゴールデンウィークの10連休により、更に契約が落ち込むと考える。
	テーマパーク（役員）	・ゴールデンウィークの10連休など好材料もあり、客の動きはやや良くなるとみている。
	美容室（経営者）	・国際情勢や株価など、余りに悪い報道が多すぎて消費者が委縮している。
	住宅販売会社（従業員）	・10月前に完成する工事が消費税8%の対象であり、4月以降に若干の駆け込み需要があると考えが、大きな工事だと10月までに仕上げられない。どの建築業者も職人が足りない状況であり、今後は仕事をこなすことに注力しなければならない。
	住宅販売会社（従業員）	・消費税の上げの駆け込み需要に一段落がきて、客の動きが鈍るとみている。
	x	-
企業 動向 関連  (北陸)		-
	精密機械器具製造業（役員）	・生産計画において、今後少なくとも半年程度はそれなりに高い水準で推移することを見込んでいる。
	プラスチック製品製造業（企画担当）	・通商問題や海外情勢の不透明感が懸念材料となるおそれもあるが、当面は引き続き堅調に推移するものと考え。
	一般機械器具製造業（経理担当）	・国内においては受注量は大きく変わらない見込みである。しかし、中国市場の減速の影響を一部の国内企業が受け始めており、それが波及してくると雇用環境や資材価格等への影響が懸念される。
	建設業（経営者）	・従来どおり新年度工事の発注が4～5月に少なければ、手持ち工事の消化で人員のやりくりを何とかする状況である。
	建設業（役員）	・現状の受注状況について足元は安定しており、短期間では変わらないと考えているが、先行きについては不透明である。
	通信業（営業）	・受注が安定しており、客からの値下げ要求もみられないため変わらないとみる。
	金融業（融資担当）	・新幹線効果の持続もあって、飲食店や観光関連業からは出店資金の申し出が従来以上に出てきており、当面は業績伸長が期待できる。一方で、人手不足の深刻さは一朝一夕には解決せず、今後の着工件数等に影響が出る可能性を取引先との会話の中で感じる。
	不動産業（経営者）	・現在の動きが少し良くなってきているので、この状態が2～3か月続くのではないかと考える。
	司法書士	・事業用資金、住宅資金共に金利が低い。特に事業用資金についてはこれまでにない低金利で、融資案件が増えるのではないかとみている。
	食料品製造業（経営企画）	・単純に言って、好材料と呼べるものがほとんど見当たらないのが実情である。
	繊維工業（経営者）	・先行きは全く不透明である。全体からみると業種や用途によって、先行きがまだら模様である。
	金属製品製造業（経営者）	・当社の販売先で、売上が失速する会社がみられる。
	一般機械器具製造業（総務担当）	・米中貿易摩擦の影響や英国のEU離脱問題で設備投資意欲が落ちている。国内に関しては、補助金を念頭において投資を控えていると考えられる。
金融業（融資担当）	・飲食店は送別会などの3月の売上が例年より悪い様子である。消費税の引上げに備えて、消費者が支出を控えている。消費税の引上げが近づくとつれて顕著になりそうである。	
	税理士（所長）	・中国経済の減速が影響している。賃金については中小企業や若い従業員を中心に引き渡っていない感じがする。消費者からの値引き要請が一般店に迫ってくるなかで今年は消費税の引上げとなることから、需要が冷え込むのではないかと懸念と、値引きの負のスパイラルが起こるのではないかと心配がある。新年度の始まりは案件が少ないことから、中小企業は少し厳しいのではないかと感じる。

	x	新聞販売店 [ 広告 ] ( 従業員 )	・ 3月の前年同月比も大きく下回った。特に携帯電話のチラシ出稿が激減している。この先も紙の価格高騰と出荷制限で、チラシの出稿が業種を問わず苦戦するとみている。
雇用 関連  (北陸)		-	-
		-	-
		人材派遣会社 ( 役員 )	・ 新採用の時期でもあり、企業からの需要は少ない。
		求人情報誌製作会社 ( 編集者 )	・ 大きな雇用が生まれる話が出てこない。
		新聞社 [ 求人広告 ] ( 担当者 )	・ 人材確保によって企業経営が支えられている。従業員数が増えないことには発注があっても受注できない。
		職業安定所 ( 職員 )	・ 減少がみられた製造業においては、1社でまとまった数の求人が減少している事業所は少なく、製造業全体としての手控え傾向からまとまった数の減少につながったのではないかと考えている。製造業に関しては今後の推移に注意したい。建設業や運輸業、医療福祉業は、引き続き根強い人手不足を訴えている。3月においては、運輸業では東京オリンピック関係の工材等の運送や、医療、健康食品、化粧品のパッケージなどの動きが活発であることから、当地全体としての業況としては変わらない。
		民間職業紹介機関 ( 経営者 )	・ 人手不足はまだ続くので、不足している分の労働力は退職予定者の継続雇用など条件を広げて幅広く選択せざるを得ない。
		学校 [ 大学 ] ( 就職担当 )	・ 変わらず採用活動は活発に見受けられるが、企業の採用基準は下がっていないように感じる。
	x	-	-